

令和4年度 第1回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

- 1 日時 令和4年7月21日（木）午後2時～3時15分
- 2 会場 北名古屋市役所西庁舎4階 大会議室
- 3 出席者 18人
委員9人（3人欠席）、市長、総務部長、人事秘書課長補佐、防災交通課長、事務局（総務課長以下5人）
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題
 - (1) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン令和3年度実施結果について
 - (2) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン令和4年度実施内容について
 - (3) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン成果目標について
 - (4) 北名古屋市審議会等における男女の委員構成について
 - (5) 第2次男女共同参画プラン中間見直しについて
 - (6) その他
男女共同参画セミナー「SDGsから学ぶジェンダー平等」の開催について
- 6 会議概要
 - (1) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン令和3年度実施結果について
 - (2) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン令和4年度実施内容について
 - 事務局から資料1・資料2に基づき説明
 - 委員協議
(施策の方向:男女共同参画に関する意識・傾向の把握について
研修等にて男女共同参画についてアンケートを実施)

<委員>
職員研修のアンケート結果で概ね「イクボス」について理解を得られたと思うが、少数側としての意見はあったか。

<総務課>
令和3年度の男女共同参画職員研修では「管理職『イクボス』セミナー」を開催した。19名の受講があり、「イクボスの役割を理解した」という回答は16件、「どちらともいえない」は3件であり、具体的な少数側の意見は特になかった。研修をきっかけに、「介護、病気治療と仕事を両立するためにはどうしたらいいか、考えることができた」、「育児休暇明けの復帰事例を実際に知ったり考えたりすることで働く環境づくりについて理解が深まってきた。」など仕事と家庭の両立について考える機会となったというプラスの感想をいただいた。

<委員>
この研修は実施して効果があったということか。

<総務課>

そうである。

○委員協議

(施策の方向:男女の視点を取り入れた防災計画の推進
地域防災計画の策定)

<委員>

実施結果として「女性の意見を集約し、計画へ反映させた」とあるが、どんな意見があり、どんなことを計画に反映させたのか。

<防災交通課>

計画策定を行う防災会議は総委員数29名。その内5名が女性である。地域防災計画について会議前と会議中の計2回で計画の修正案の意見をいただくが、どちらの際にも異議がなく、個別の意見等もなかったため、その結果を反映させた。

○委員協議

(施策の方向:男女が共に参画する地域防災活動の促進

女性消防団員による活動、自主防災訓練への協力、出前講座の実施)

<委員>

実施結果に「女性の視点を取り入れた」とあるが、具体的に何が入り入れられたのか。

<防災交通課>

女性が家の中で火を扱う機会が多いことに着目し、女性視点に立った初期消火(主に消火器の取扱い)の方法を指導する機会を設けた。女性消防団員に資格を取得してもらい、心肺蘇生法の講師として女性の視点で応急手当の指導を行い、男性と共に子育てを担う女性に対しても、適切な普及と促進を図ることができたと思う。防災講話では、女性参加者に避難所運営の説明や避難所資機材の組立等に参加してもらうことで、女性の視点から避難所運営等に対する意見、例えば、運搬可能な物品の重さや避難所設営時における間仕切りの高さ、プライバシーの考え方などを取り入れることができた。女性の意見や実際に活動していただいたことにより、防災のあらゆる面でプラスになったと思う。

<委員>

このような訓練は回数を重ねなければ自分たちでできないため、積極的に実施してほしい。また、避難所運営も日々進歩しているため、講習会等を多く実施してほしい。

○委員協議

(施策の方向:男女共同参画に関する広報・啓発について

「情報紙発行、広報、LINE、ホームページ掲載、イベントの実施による広報・啓発」)

<委員>

①北名古屋市では、ウェブサイトへのアクセス解析を行うツール(Google アナリティクス等)を使用して、市のホームページにアクセスしたユーザーがどのようなコンテンツにアクセスしているか解析さ

れているのか。

②GoogleMap 上には、北名古屋市の設置する各庁舎（西庁舎・東庁舎）の Google ビジネスプロフィールが登録されているが北名古屋市では、Google ビジネスプロフィールのオーナー確認を済ませているのか。

<人事秘書課>

①について、Google アナリティクスによる解析はしている。市ホームページの閲覧数やこういったツールから閲覧されているか確認しており、例えば昨年度は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種のホームページの閲覧数を確認し、担当課へ情報共有した。また、市公式LINEを開くと画面下の6つのボタン「リッチメニュー」がある。こちらについてもどのくらいの閲覧があるか個々に把握している。

<委員>

しっかり導入されていて驚いた。男女共同参画のホームページに関してもどのくらいのアクセスがあるか把握しておく、男女共同参画プランの策定時等の参考資料になると思う。

<人事秘書課>

②について、Google ビジネスプロフィールのオーナー確認は市内どの施設もしておらず、「施設の開館時間」「休館情報」「施設内の写真」などの情報を掲載したビジネスプロフィールの登録のみしており、それ以上のことは取り組んでいない。

<委員>

他市町の市役所や県庁等でオーナー確認はしているところは少ないが、観光施設等では登録されているところが多い。施設の開館時間等だけでなく、バリアフリー化、イベント情報、LGBT に対して親和的かといったことも記載できる。Google アナリティクスよりも遥かに使いやすいため、活用できるといいと思う。

<人事秘書課>

北名古屋市近隣の市町を調べたところ、Google ビジネスプロフィールのオーナー確認の登録をしている市町はなかった。登録方法を調べたが、施設の電話番号が必要であり、市役所の場合は代表番号になるため、北名古屋市だと2つの庁舎が存在するため、同じ番号で複数の施設を登録できるか難しい。イベントの周知に関しては、市公式LINEを活用してるため、Google ビジネスプロフィールの活用は考えていない。

<委員>

情報の発信方法は様々であるため、今後とも周知をお願いしたい。

<委員>

市公式LINEを初めて見たがすごくいいサイトだと思った。Google マップから検索した際、市ホームページには繋がるが、市公式LINEにたどり着けない。とてもいいサイトだからもっと分かりやすく表示されると思う。市ホームページの場合、SNS 一覧からアクセスできるようになっているが、一覧が行政らしく文字化されているため、一発で見て分かるようになると必要な情報がすぐ入手できると思う。

<人事秘書課>

この意見を踏まえ、必要な情報がすぐ得られるよう分かりやすいサイトにしていきたいと思う。

<委員>

②について、Google ビジネスプロフィールの登録を済ませていないとどういったデメリットがあるか。

<委員>

Google ビジネスプロフィールが登録されていると、インターネット上で市役所を見つけることができる。オーナー確認も済ませると、市が主体となって地図上で発信する情報、例えば、開館時間等がリアルタイムで更新できるというメリットがある。

○委員協議

(その他：同性婚について)

<委員>

北名古屋市における同性婚の対応について見解があれば教えてほしい。

<総務課>

同性婚いわゆるパートナーシップ制度として答えさせていただく。まずは、性的少数者（セクシャルマイノリティ）への理解の促進を図ることが必要だと考えている。LGBT に対応する職員研修、セミナーの開催の他、昨年度作成した LGBT パンフレットを活用し、啓発を進めていきたいと考えている。現在、窓口担当の市民課からパートナーシップ制度が必要であるといった要望は聞いていないが、市議会議員からは制度導入についての要望を聞いている。また、一般市民からは制度導入に対する反対もいただいている。今年度は第2次北名古屋市男女共同参画プランの中間見直し時期で、市民意識調査を実施している。その中でパートナーシップ制度導入についての質問項目をいれているため、その調査結果を踏まえ、導入については慎重に判断していきたいと思う。

<委員>

パートナーシップ制度の他、パートナーシップ宣誓制度やパートナーシップ・ファミリーシップ制度といった形で制度導入をしている市町村があり、愛知県下では54市町村のうち、11市町村が導入しており、今後導入を検討している市町村もある。この制度は要項または条例で制定できるが、愛知県内で条例で制定されているのは岡崎市のみである。北名古屋市でも導入賛成の声があるなら、まずは要項で導入してはどうか。とある市では、審議会で承認を得て、最終的に市長の了承を得れば導入を可能にすることができる。この制度のメリットは市営住宅に住むことができるといったことがあるが、それだけだと制度を設ける意味がない。現在、医療機関や学校機関で「配偶者でなければ了承を得られない」といった表現があるが、そういった内容を緩和できる制度があるといいのではないか。また、この制度のメリットとデメリットの問題だけでなく、セクシャルマイノリティの人に対して、市が主体となって理解し支援するという姿勢があるとよいのではないか。導入する方向性を

出してもらえると嬉しく思う。

<総務課>

市民意識調査の結果をもとに審議会委員と一緒に制度導入について進めていきたい。

(3) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン成果目標について

○ 事務局から資料3について説明

(4) 北名古屋市審議会等における男女の委員構成について

○ 事務局から資料4について説明

○ 委員協議（北名古屋市審議会への女性登用促進理由書について）

<委員>

対応策「なし」の項目について（国民健康保険運営協議会、保健衛生推進協議会、予防接種対策協議会、老人ホーム入所判定委員会）ここ数年、全く同じ理由で「できない」ことが示されている。北名古屋市の医師の男性・女性の比率（もしくは人数）を教えてください（示してほしい）。また、老人ホーム入所判定委員会に関しては、民生・児童委員の多くは女性であるにも関わらず、登用されていないのはどうしてか？

<総務課>

北名古屋市の全ての男女の医師の人数は把握できていないが、医師会に加入している医療機関の女性の人数は把握できているためその件数で回答させてもらう。市内の西名古屋医師会の加入機関数は44件で、そのうち女性が代表となっている機関は4人。全体の9%が女性である。その他、歯科医師会もあり西春日井医師会に加入している機関数は、31件でそのうち女性は3人。全体の4.6%が女性である。医師会と歯科医師会を合わせた75件のうち7人が女性で全体の9.3%が女性である。また民生児童委員の女性登用に関して、推薦の依頼を会の代表としており、今回は会長が男性であるため女性が登用されていない状況となっている。推薦者は会長と指定はしていないため、女性を登用するといった要望ができるかどうか担当課で検討してまいります。

○委員からの意見

1. 男女共同参画社会の実現に向けて、計画→実行→再構築がなされる時、何でも“男女共同参画”と言うことができる。1つの問題を解決する時①どの方面から②どの部分を③どう変えると④どんな効果か生まれ、よりよく改めることができるかを常に意識して計画、実行してほしい。例えば、介護休暇や育児休暇の取得者、許可する側、それを支える側の3面に対して考える必要があり、休暇を推進するためにはどこに重点をおくのか、バランスがどう大切なのかなどを見極めてほしい。
2. 実施予定内容の文章だけを見ると、なぜこれが男女共同参画なのかわかると思われるものがある。発信する側がその立ち位置と、その意義を理解し、実施できるよう、担当者への確認や講習をしてほしい。実施者、担当者の言葉1つで受ける市民の理解や実践が異なると考える。
3. 例年問題とされている混合名簿の導入が進んだことはとても嬉しい。

4. 新型コロナウイルス感染症のため、実施できていないものも何項目かあるが、オンラインの活用など市民側もその活用に慣れてきたので、違った手法も検討し、必要なことを必要な方に届け、社会が良くなる一助としてほしい。

<総務課>

男女共同参画”は大変分野が広いためそれに関係する事業が多くあり、なんでも“男女共同参画”に結びつけ、どう結びつくのか実際にどう効果があり、何を改善したのかが分かりにくいものがある。目的をしっかりと意識しながら、問題解決に向けた事業を実施していくよう進めていくとともに、2でご指摘いただいたとおり実施予定内容についても同じように、目的を意識した事業の発信について心がけ、関係課へのヒアリングを行う際に、こういった効果があるのかなど男女共同参画推進に向けた施策を関係課とともにわかりやすく記載できるよう進めていく。

3の男女混合名簿については、例年問題とされていた混合名簿について、長年の働きかけの成果により、今年度で16校中14校が導入された。来年度には残り2校が導入する予定のため、全ての小中学校で男女混合名簿が導入されることとなる。

4のオンラインの活用については、一部の課ではユーチューブの利用やZOOMの活用なども行っているが、まだ進んでいないところが多くある。担当課と連携して講座やイベントで活用できるよう市役所全体として進めていきたいと思う。

- (5) 第2次男女共同参画プラン中間見直しについて

○ 事務局から資料5について説明

- (6) その他

男女共同参画セミナー 「SDGsから学ぶジェンダー平等」の開催について

○ 事務局連絡事項に基づき説明

<閉会 午後3時15分>